

さがみはら  
地球温暖化対策協議会  
**会員紹介**

個人 22名  
事業者 33社  
団体 35団体  
合計 90  
(平成27年7月1日現在)

会員紹介は  
掲載希望の  
会員から順次  
掲載します。



公益社団法人相模原青年会議所



20歳から40歳までの青年経済人が集い、「夢あふれるまち」相模原創造のため、果敢な行動力と責任感、情熱をもって活動している団体です。その活動は多岐ですが、毎年「相模原市民まつり」にて「レッツごみニケーション！」の掛け声のもと、ごみ分別リサイクル活動を実施しております。相模原に集う青年よ！まちは、あなたを待っています！

<http://www.sagamihara-jc.com/>

NPO法人かながわ環境カウンセラー協議会



絶滅危惧種(キンラン、ギンラン)等の自然観察会、環境経営システムのエコアクション21普及活動(今年はEA21 CO<sub>2</sub>削減プログラムによる5回の無料出張コンサル)、さがみはら環境まつりへの出展、環境教育・啓発活動(省エネ教育、化学物質リスクアセスメント教育)、中小企業の環境経営支援(省エネ、廃棄物削減、化学物質削減など)を行います。

<http://www.1a.biglobe.ne.jp/hama37keca/>

東急建設(株)技術研究所



「安心で快適な生活環境づくり」を目指し、鉄道、道路、橋梁、住宅などの生活基盤施設や生産、物流、医療、福祉などの建設事業を展開しています。技術研究所は1992年に相模原市田名に開設されて以来、土木・建築・建設ロボットの先進的な研究開発を行っています。学生の見学やマスメディアの取材にも積極的に対応しています。

<http://www.tokyu-cnst.co.jp/technology/lab/index.html>

公益社団法人相模原青年会議所



20歳から40歳までの青年経済人が集い、「夢あふれるまち」相模原創造のため、果敢な行動力と責任感、情熱をもって活動している団体です。その活動は多岐ですが、毎年「相模原市民まつり」にて「レッツごみニケーション！」の掛け声のもと、ごみ分別リサイクル活動を実施しております。相模原に集う青年よ！まちは、あなたを待っています！

<http://www.sagamihara-jc.com/>

NPO法人  
さがみはら環境活動ネットワーク会議 (SEN)



私たちは、市民・環境団体・教育機関・企業・行政と連携し、持続可能なまちづくりを目指して、環境保全活動、環境教育活動、ネットワークづくり、相模原市立環境情報センター運営などに取り組み、環境に関する講演会や市の職員の方を講師に迎えた環境政策の学習会なども行っています。一緒に活動する会員を募集中です。

ホームページリニューアル中  
Eメール: [sen.contact@senc.jp](mailto:sen.contact@senc.jp)

株ウェブコンサルチーム

ホームページ制作やプログラム開発など、経験と技術で、確かなものをご提案

ウェブコンサルチームは、中小企業から大手企業まで幅広くWEBサイトの企画制作を手がけています。現代WEBの世界にはさまざまな情報が溢れ、だれでも簡単に専門的な知識を得ることが容易になっています。そんなデジタル情報化社会の中で我々ウェブコンサルチームが提案するのは決してデジタルだけではありません、「人と人との繋がりに」です。

勿論、WEB制作に必要な企画力、デザイン力には自信をもっております。まずはあなたのご要望を、御社の「こうありたい」に答えられる会社ウェブコンサルチームにお聞かせください。

<http://www.web-consult.co.jp/>



さがみはら地球温暖化対策協議会からのご案内

～ホームページをご覧ください。～

活動内容や会員の紹介、講座やイベントのご案内等を掲載しています。フェイスブックページもあります。URL <http://www.s-ontaiyou.jp/>



会員募集中です!

さがみはら地球温暖化対策協議会に入会して、温暖化対策と一緒に取り組みませんか。協議会の目的に賛同する個人・事業者・団体で協議会事業に積極的に参加いただける方ならどなたでも入会できます。市外の方も入会可能です。

会費...1口 1,000円 ・個人会員 / 1口以上  
・事業者・団体会員 / 2口以上

入会を希望する方は、お気軽に右記協議会事務局にお問い合わせください。



この会報は環境に配慮した紙・インクを使用しています。

さがぼー通信

第4号

発行日  
平成27年7月

さがみはら地球温暖化対策協議会は、個人・事業者・団体・市が連携・協力しながら、日常生活に起因する温室効果ガスの排出削減などのために必要な対策の協議や活動を実施し、地域の地球温暖化対策を推進していきます。

さがみはら  
地球温暖化対策協議会

〒252-0236  
相模原市中央区富士見 1-3-41  
相模原市立環境情報センター内  
電話 / ファクス 042-753-9550  
Eメール [info@s-ontaiyou.jp](mailto:info@s-ontaiyou.jp)  
●<http://www.s-ontaiyou.jp/>

さがぼーくんと一緒に  
エコ宣言をしましょう!



5月9日(土)、10日(日)の2日間にわたり開催された相模原市民若葉まつりの中で、さがみはら地球温暖化対策協議会と相模原の環境をよくする会との共催で「かんきょうフェア2015」を開催しました。初夏の爽やかな天気恵まれ、若葉まつりには2日間で約39万人が訪れ、「かんきょうフェア2015」の会場の環境情報センターにも親子連れを中心に多くの市民の方々が来場されました。

私たち協議会は自転車発電や間伐材工作などの体験と「さがぼーくんとエコ宣言」という新しい試みを実施しました。「地球温暖化防止のために自分が行っていること、また今後やってみようと思うこと」をホワイトボードに書いて、協議会キャラクターのさがぼーくんと一緒に写真を撮りましょうというイベントです。多くの市民のみなさんに賛同いただき、67組もの方々がエコ宣言を行いました。子ども用さがぼーくん帽子・手袋を着用して、さがぼーくんになりきるお子さんも多く、笑顔あふれるエコ宣言となりました。今後もさがぼーくんがみなさんのエコ宣言を集めていきます。市内のお祭りやイベントなどでさがぼーくんを見かけたら声をかけてくださいね。

また、「さがぼーくんとエコ宣言」に参加していただいた全員の方の写真を当協議会のホームページでご覧いただけるよう準備中です。どうぞお楽しみに!

みなさん  
すばらしい



# 「クールシェアさがみはら2015」 実施中です！



電力需要が高まる夏の日中を中心に、家庭でのエアコンの使用を控え、市内の公共施設や店舗等の民間施設で暑さをしのいでいただく「クールシェアさがみはら2015」を7月1日から実施しています。クールシェアは節電・省エネに加え、熱中症対策や地域経済の活性化、地域コミュニティの醸成などにも期待されています。

実施施設では、昨年に引き続き、津久井産の間伐材

を活用したうちわ立てに「うちわ」と「リーフレット」を配架しています。(さがぼーくんの「うちわ」もあります)

今年度は近隣の自治体(九都県市)でもクールシェアを実施しています。九都県市の1つである相模原市でも「九都県市クールシェア」を実施しており、実施施設にステッカーを掲示しています(実施内容は、「クールシェアさがみはら2015」と同じです)。

## さがみはら環境まつりで 環境川柳募集開始！

6月21日(日)にミウヰ橋本で第11回さがみはら環境まつりが開催されました。温暖化対策協議会のブースではおなじみの「STOP! 温暖化ハウス」の手回し発電体験と、「あなたの家で照明をLEDにしているところがありますか?」というアンケートをお願いしました。来場者160人に協力いただいた結果は「ある119人」「ない41人」で、多くの方がLEDを暮らしに取り入れているのがわかりました。

また、環境まつりの日から第3回相模原環境川柳コンテストの川柳募集を開始しました。みなさん、ちょっとひねってみませんか。優秀作品は12月13日(日)のさがみはら地球温暖化防止フォーラムで表彰し、記念品を贈呈いたします。



(例) 森林は未来に送るプレゼント  
(例) 賢沢と便利が進める温暖化

### 第3回 相模原環境川柳コンテスト

お題『地球温暖化問題』

募集期間：6月21日～10月31日  
 応募方法：応募用紙に記入の上Eメール、FAXまたは郵送  
 応募用紙は当協議会ホームページからダウンロードできます。  
 応募の際はお名前、ご連絡先などをお忘れなく。  
 ホームページアドレス <http://www.s-ontaiyou.jp>  
 E-mail：info@s-ontaiyou.jp  
 F A X：042-753-9550  
 郵 送 先：〒252-0236 相模原市中央区富士見1-3-4 相模原市立環境情報センター

(例) ポイ捨てはあなたの心汚している  
 (例) 今日SHON子孫にJUNななをせせむ

優秀作品には  
記念品が  
贈呈されます。

## さがみはら 地球温暖化対策協議会 今後の予定

- 8月 8日(土) 田名ふるさとまつり
- 9月 11日(金) 事業者向けESCO事業説明会
- 10月 18日(日) 相武台ふるさとまつり
- 10月 25日(日) 津久井やまびこ祭り
- 11月 8日(日) さがみはら市民活動フェスタ
- 11月 11日(水) 市民向けバス見学会

ノジメガソーラーパーク  
南清掃工場  
宮ヶ瀬ダム・愛川第1発電所

- 12月 13日(日) さがみはら地球温暖化防止フォーラム

ほかに会員研修講演会や  
会員視察研修を秋に開催します。



## さがぼーくん LINEスタンプ Coming soon!

僕のLINEスタンプができるんだよ。  
楽しみに待っていてねー。  
詳しくは後ほど  
さがみはら地球温暖化対策協議会の  
ホームページでお知らせ予定なので、  
こまめにチェックよろしく!

## 地球1コ分の 暮らしへ

環境ジャーナリスト 枝廣淳子

私たちの命は地球が提供してくれるものによって支えられています。地球は毎年、植物を育て、大気中の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を吸収するなどして、私たちに食べ物や衣料、水やさまざまな原材料などを提供してくれています。地球の大きさは決まっていますから、1年間に提供できる森林資源や海洋資源、吸収できるCO<sub>2</sub>の量などにも限りがあります。かつては、人間は地球が提供できる自然資源のすべてを使うことはありませんでした。しかし、人口と需要の増加によって、1970年代初めに私たち人間は、地球が再生できる量以上の自然資源を使うようになりました。

「エコロジカル・フットプリント」という指標があります。人間が必要とする食糧や木材、魚や都市部の土地などの資源を提供し、人間活動から排出される二酸化炭素を吸収するために必要な土地の合計面積として計算し、地球上の実際の土地面積と比較したものです。「人間活動を支えるには地球は何コ必要か?」です。

毎年地球が生み出してくれる供給・吸収量の範囲内で、地球上の生物(人間を含む)が暮らしていれば問題はありません。元本に手をつけずに、毎年そこから生み出される利子だけで暮らしているようなものだ

からです。これならずっと続けることができます。これが「持続可能」ということです。

ところが、現在のエコロジカル・フットプリントは1.5。人間活動を支えるためには、地球は1.5コ必要なのです。拡大を続けてきた人間活動は、毎年利子だけでは足りなくなって、未来世代のために取っておくべき元本に手をつけて、生活し、経済活動を続けているのです。年々「今年の自然予算を使い果たしてしまう日」が少しずつ繰り上がってきています。私たちの社会や経済が持続可能な方向には進んでいないことがわかります。

エコロジカル・フットプリントは世界全体だけでなく、国ごとにも計算できます。欧州には「自分たちの町のエコロジカル・フットプリント」を計算して、それを「1」に近づけようと取り組んでいる自治体もありますし、企業などの組織ごとにも計算できます。エコロジカル・フットプリント・ジャパンのサイトでは「自分のフットプリント」を計算できますからぜひ試してみてください。

あなたの暮らし方は地球が何コ必要なのでしょう?  
少しでも「1」に近づけるにはどうしたらよいのでしょうか?

(ガスエネルギー新聞「賢人の目」より)

